

営農情報（小麦）

第52号 令和5年1月17日
福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

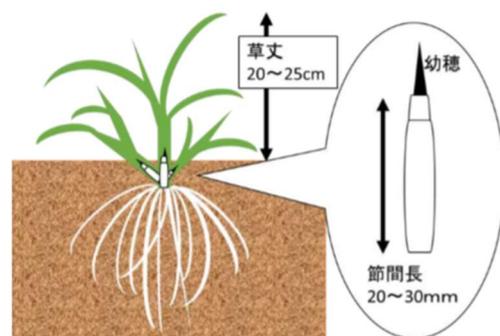
1 生育概況

12月から急激に気温が低下したため、11月下旬播きと12月上旬播きで出芽時期にやや差が出ましたが、生育はおおむね順調に進んでいます。ほ場ごとの生育状況を確認し、適期管理に努めましょう。

2 麦踏み

麦踏みは、3葉期～節間伸長開始期（2月下旬頃）までに、3～4回実施します（晩限は右図を参照）。早めに播種した麦は、茎立ちが早まり凍霜害を受け易いので、土入れで成長点を保護した上で麦踏み回数を増やし、生育を抑えます。土壌水分が高い状態で麦踏みを行なうと、土が締めつけられ生育を抑制するため、十分乾燥した状態で行います。

※土入れと合わせて麦踏みを行なう場合は、土入れを先に実施し、その後に麦踏みを行います。



麦踏み晩限：草丈25cm程度

3 土入れ

倒伏防止や排水対策、雑草防除のため、土入れを3月上旬頃（茎立ち期頃）までに2～3回実施します。麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。土入れの量は麦の生育に応じて調整し、麦踏み直後は避けます。（麦踏み後に実施する場合は生育が回復するまで空けます）



土壌が乾燥した状態で実施

4 排水対策

麦は湿害に弱く、排水不良田では根傷みや生育ムラ、枯熟れ等が生じます。土入れの後は、畝溝と落水口をつなぎ、ほ場に水が停滞しないようにします。雨の後に、雨水が停滞している箇所がないか、確認しましょう。



枕地をとおして落水口へつなぐ

5 追肥

出芽が揃っているほ場では、基準量の追肥を1月下旬頃に行います。なお、出芽が1月上旬頃まで遅くなったほ場や、深播き等で出芽の揃いが悪いほ場では追肥一発肥料を使用せず、2月下旬～3月上旬に生育に応じて、NK2号を10～20kg/10a程度施用します。

6 雑草防除＜広葉雑草対策＞

ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に、雑草の種類に合った薬剤を選択します。

また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

薬剤名	対象雑草	使用時期	10a使用量	備考
ハーモニーDF	スズメテッポウ、 一年生 広葉雑草	節間伸長前まで	5～10g (水100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメテッポウ、ヤエムグラ、カスノコグサ、シヤギは10g推奨 ・タデ類に効果が高い ・カスノエトウに効果あり ・近年、ハーモニー剤が効かない抵抗性スズメテッポウが出ています。 ※ハーモニー細粒剤FとハーモニーDFはいずれか1回しか使用できない
	一年生 広葉雑草	(小麦)節間伸長開始期 ～穂ばらみ期 (収穫45日前まで) ※大麦は節間伸長前までしか使えません	3～10g (水100L)	
アクチノール B乳剤 ※R5は生産中止	一年生 広葉雑草	穂ばらみ期まで 目安：1月中旬～3月上旬	100～ 200ml (水100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・カスノエトウに効果が高い ・高温時は薬害を生じやすいため注意 ・キノウケ類への効果劣る
エコポートフロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで	50～100ml (水100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤエムグラに効果高い ・カスノエトウへの効果は低い ・薬害（軽微な白斑等）が生じることがある
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	生育期 目安：1月中旬～2月上旬 (小麦：収穫45日前まで) (大麦：収穫90日前まで)	100～200ml (水100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・キノウケ類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が高い

※上記の薬剤を使用した上で、3月頃までカスノエトウ等広葉雑草が残った場合

MCPソーダ塩	一年生 及び 多年生 広葉雑草	幼穂形成期 (収穫45日前まで) 目安：3月上中旬	200～300g (水100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・気温が高い方が効果高い ・分げつ抑制作用があるため、茎数を十分確保してから散布する ・カスノエトウに効果あり ・ヤエムグラには効果低い
---------	--------------------------	---------------------------------	---------------------	---

※農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意してください。

～「慣れ」と「油断」が事故を招きます～
”安全”な農作業と農薬使用を徹底しましょう！